



# 平銀對常磐の合併益々好調

## 平銀側から續々出水 休業期間中に再起

平銀對常磐の合併交渉が愈々本舞臺に入り一昨日山崎頭取以下高岡、木村兩氏出水せるは昨報の如くであるが益々交渉は進捗し

### 具休案の協議に及

んだらしく昨日は新田日常任監査役招電に接して出發し、本日は銀行員三名午前五時十五分平驛發に依つて水戸に赴いた交渉の顛末は勿論極秘に附されて居るが常磐は人も知る如く一千三百萬圓の遊金を抱きよき投資場をねらつて居た際であり本縣海岸地方を

### 雄飛の舞臺と睨み

以前から平銀に對し秋波を送つて居た關係上合併の意圖が仲々に固い事は想像に餘りあるから交渉が益々好調を帯びて來るのは當然であり假契約が成立すれば株主總會や大藏省の認可等の手續上の事柄は後廻しと爲し預金の引出しに應ずべく現金三百萬圓を用意し休業期間中に一先づ

### 平銀行の名に依つ

て蓋を開ける段取りになつて居るといふ

### 勿來青年會館 石城

郡勿來町第一青年分團で

### 博覽會受賞

#### 山古醬油金牌 東北産業博で

平町山崎合名會社では曩に仙台市に開かれたる東北産業博覽會に自社醸造の醬油を出品し審査の結果品質優良なりとしてこの程金牌を授けられ又同町草野七五三の助氏は自家染物工場の製造品を出して同様銀牌を受けたが内郷村馬目太平氏は清酒近盛を大禮記念國産振興東京博覽會に出し有功章を受けた

### 吊橋の計畫

#### 四時川に 縣補助を得て

石城郡川部村大字小川字北の内及び大字沼部字鹿野間に通ずる四時川架橋は去る八月一日の洪水に流失したので假橋を以て漸く通行不便するも車馬の往來を早ずるに於て過般村會の協議により工費一萬八千六百一十圓を

以て新に架橋する事になり内六割の縣補助を仰ぐべく申請した然して土木監督所より所員出張査定の結果橋の延長二十八間の中二十一間を吊橋七間をゲタ橋とし

### 來春一月早々 平郵便局の新築

#### 目下工事請負者選定中 電話局は別棟に

平郵便局の移轉新築問題に就いては御大典其他の關係で起工を延期されて居たが主務當局では目下右工事請負者の選定中であり決定次第來春一月早々四丁目敷地六百坪に建設着工する事になり各種準備を進めて居る然して之れに要する工費は最初二十五萬圓を以て木筋コンクリート一棟二階建の計畫であつた處電話交換臺が複式に改革される關係から従つて工事規模が擴大される事になり電話局舎は獨立の鐵筋コンクリート二階建となす事に決定し都合二棟を建設されるが之が總工費も嵩み約三十萬圓を要する大々的のものとなるわ

### 神谷の火事

#### 風呂場から

昨日午後六時頃石城郡神谷村大字瀬戸農園井嘉八方風呂場より發火し傍らの厩屋一棟を全焼同村消防組出動鎮火した

### 集金して逃走

#### 十三の少年 平驛で捕る

東京府下吾嬬町木炭商鈴木金太郎方雇人石城郡赤井村字瀧不動鈴木清次郎二男武(一)假名は四日吾嬬町鈴木(二)花ですこの二年目の根を採つて乾燥し、煎じて服みますと發汗に効驗があり、ますが用量は〇、八から四、〇までに限るので、ろくわい、熱帶地方に栽培せらる、植物で葉は大きくて肉厚く先が尖り花は長い花梗の上に簇生して開くのです、この葉から搾出し



藥草いろく、よろひぐさ、山野に自然生へる高さ七八尺にもなる三年生早で、花は白色の小

### 歳末を特別警戒し 徹底的に犯罪防止

#### 不正商人やコソ泥など 不良の徒輩を一掃

平署では御大典の特別執行も全く終了したので、いよ／＼例年通り歳末の特別警戒をなし犯罪を徹底的に防止することゝなつたこれについて猪狩署長は「歳末氣分が漂ひ初めると毎年の如く不正商人の横行やコソ泥の出没スリの跋扈等幾多の犯罪が行はれるから例年通り特別執行して不良の徒輩を一掃する計畫である」云々

### 水道豫算 原案通り可決

#### 實地踏査の上

平町水道擴張工事豫算決定調査會は委員附託となつた儘前後數回に亘つて委員會を開き協議の末四日午後一時から委員十一名が水路取入口の實地調査を行つたが問題の大瀧發電所がいつ着工するか見込が立たず一

### 平町人事

△出生  
△材木町二 有智治氏二女テル  
△長橋町二九 根本友吉氏長女至子  
△死亡  
△田町三〇 高木健雄(四つ)

### 阿部翁逝く

#### 葬儀は九日

平運輸株式會社社長阿部乙三郎氏は永らくの病氣で東京市赤坂南病院に入院加療中の處藥石効なく四日午後一時逝去した爲茶毘に附し遺骨は昨日午後九時五十分平驛着に依り阿部政右衛門氏に護られ到着した享年六十

### 募集

文藝其他投稿を募集します

某方から木炭代三圓を受取其他十數軒の得意先から二十數圓を集金して其足で上野驛發列車で逃走を企て五日午前四時二十分平驛に下車した所平署員に舉動不審として取押へられ取調べを受けて居るが十三の少年とは思はれない程の大膽なやり方には係官も舌をまいてゐる

### 父乙三郎儀病氣の處療 養不相叶本月四日午後一時死去致候間此段御通知申上候也

追而葬儀は來る九日午後一時自宅出棺性源寺に於て佛式に依り相營み申候  
十二月六日  
福島縣平町播磨小路  
男 阿部政右衛門